



ブレ公開講座 募集ガタンと開催！
 居心地のいい場所！新しい映画館のつりかた
 〇二〇三年六月二十五日(金)午後七時より
 第一 直野 洋介 第二 斎藤 隆三 第三 立木 洋一 第四 小川 真一 第五 小川 真一 第六 小川 真一
 第七 小川 真一 第八 小川 真一 第九 小川 真一 第十 小川 真一
 第十一 小川 真一 第十二 小川 真一 第十三 小川 真一 第十四 小川 真一
 第十五 小川 真一 第十六 小川 真一 第十七 小川 真一 第十八 小川 真一
 第十九 小川 真一 第二十 小川 真一 第二十一 小川 真一 第二十二 小川 真一
 第二十三 小川 真一 第二十四 小川 真一 第二十五 小川 真一 第二十六 小川 真一
 第二十七 小川 真一 第二十八 小川 真一 第二十九 小川 真一 第三十 小川 真一
 第三十一 小川 真一 第三十二 小川 真一 第三十三 小川 真一 第三十四 小川 真一
 第三十五 小川 真一 第三十六 小川 真一 第三十七 小川 真一 第三十八 小川 真一
 第三十九 小川 真一 第四十 小川 真一 第四十一 小川 真一 第四十二 小川 真一
 第四十三 小川 真一 第四十四 小川 真一 第四十五 小川 真一 第四十六 小川 真一
 第四十七 小川 真一 第四十八 小川 真一 第四十九 小川 真一 第五十 小川 真一
 第五十一 小川 真一 第五十二 小川 真一 第五十三 小川 真一 第五十四 小川 真一
 第五十五 小川 真一 第五十六 小川 真一 第五十七 小川 真一 第五十八 小川 真一
 第五十九 小川 真一 第六十 小川 真一 第六十一 小川 真一 第六十二 小川 真一
 第六十三 小川 真一 第六十四 小川 真一 第六十五 小川 真一 第六十六 小川 真一
 第六十七 小川 真一 第六十八 小川 真一 第六十九 小川 真一 第七十 小川 真一
 第七十一 小川 真一 第七十二 小川 真一 第七十三 小川 真一 第七十四 小川 真一
 第七十五 小川 真一 第七十六 小川 真一 第七十七 小川 真一 第七十八 小川 真一
 第七十九 小川 真一 第八十 小川 真一 第八十一 小川 真一 第八十二 小川 真一
 第八十三 小川 真一 第八十四 小川 真一 第八十五 小川 真一 第八十六 小川 真一
 第八十七 小川 真一 第八十八 小川 真一 第八十九 小川 真一 第九十 小川 真一
 第九十一 小川 真一 第九十二 小川 真一 第九十三 小川 真一 第九十四 小川 真一
 第九十五 小川 真一 第九十六 小川 真一 第九十七 小川 真一 第九十八 小川 真一
 第九十九 小川 真一 第一百 小川 真一

映像アートマネージャー養成講座 | シネママネジメントワークショップ | 募集要項

期間 | 2013年7月23日・2014年3月11日(夏期休暇・年末年始を除く)
 授業時間 | 毎週火曜日の午後7時～9時。
 「映画鑑賞+映画史講義」は原則月1回・土曜日または日曜日午後2時～5時。
 教室 | 映画美学校(渋谷)、東京国立近代美術館フィルムセンター(映画史講義)ほか。
 受講資格 | 18才以上。学歴・経験の有無は問いません。
 募集人数 | 20人。定員に達し次第締切ります。
 授業料 | 157,500円(教材費・消費税込)

| お申込・お問い合わせ |
 映画美学校 シネママネジメントワークショップ
 〒150-0044 東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS
 TEL.03.5459.1850(月～土12:00～20:00)
<http://www.eigabigakkou.com>



「手紙」
 申込用紙に必要事項を記入し証明写真2枚
 (4cm×3cm、申込書用及び受講証用)を同封して右記の住所に
 郵送またはご持参ください。授業料のお支払い方法をお知らせします。
 その後、入金が確認され次第、ご連絡いたします。
 受講生は、映画美学校、アネフランセ文化センター及び
 ユーロスペース主催の上級に受講生割引で参加できます。
 講師の都合等により、授業日程に変更が出る可能性があります。ご了承ください。

<http://www.facebook.com/CinemaManagementWS>



映像アートマネージャー養成講座 | シネママネジメントワークショップ | 募集要項

お名前 印 男 女

住所 〒

電話番号

[携帯]

[自宅]

e-mail アドレス (携帯でも可)

生年月日 19 年 月 日 才 出身地 都道府県 市町部

職業 [学校名・会社名・最終学歴 等]

受講料のお支払い方法をご連絡します。希望する方法に○をつけてください。

1 | 書面郵送 2 | ファックス(番号) 3 | 電話 4 | メール

今部、当講座に申込をされた理由をご記入ください。

上映活動に関する経験の有・無、経験のある方はその内容を具体的に教えてください。



シネマ・マネジメント・ワークショップとは

映画上映を軸に、アートマネジメントを学ぶ

日本の映画館は2010年に3400スクリーンを越えた後、徐々に減少をはじめ、2012年末には3290スクリーンとなりました。このうち、2765スクリーン、85%をシネマコンプレックスが占めています。大規模な設備投資を要する“デジタル化”という大転換期の中で、従来型の映画館は急速にその姿を消し、映画館がない町、映画館の空白地域が広がり、東京や大都市でも映画館の閉館が続いています。このような状況においては、従来の映画館、映像事業の枠組みにとらわれることなく、まちづくりや観光事業、他の芸術ジャンル、クリエイティブ産業とも連動し、将来を見据え、映画上映を軸としたソーシャルビジネスとして映像文化事業を展開できる人材が必要となります。

*映画館をコミュニティに開き、拡張する

中心市街地から昔ながらの映画館が姿を消し、映画館の85%をシネコンが占める現在、地域のコミュニティシネマ（既存の映画館・ミニシアターや公共映像施設）は、他の芸術ジャンルとも連動し、幅広い映像教育も行うコミュニティの新しい文化の拠点として、その機能を拡張し、シネコンとの差異化をはかることが求められています。コミュニティシネマセンターでは、2003年から「シネマ・マネジメント・ワークショップ」を開講し、修了生の多くが国際映画祭事務局や映画アーカイブ、地域の映画館、映像専門施設等で活躍しています。今回のシネマ・マネジメント・ワークショップは、ソーシャルビジネスとして映像文化事業を展開できる、映像に限定されないマネジメント能力をもつ人材を育成するための、より充実した専門的なものとなっています。

シネマ・マネジメント・ワークショップの内容

理念から実践まで

この講座は、地域の映像文化施設、映画館（ミニシアター）、フィルムアーカイブやシネマテーク、コミュニティシネマなどのディレクター、スタッフとして、地域の映像文化を担う人材を育成するために行うものです。文化政策や地域における文化事業の動向、文化活動としての上映活動に関する理念、映画映像の歴史、製作から保存にいたる専門的な知識、まちづくりやアート・マネジメント、デジタルコンテンツも視野に入れた施設運営に関するノウハウまで、総合的に学ぶことができます。

多彩な講師陣

映画映像の専門家はもちろん、まちづくりやコミュニティデザイン、美術館・映画館運営の最前線で活躍する多彩な講師陣による30コマを越える講義。そして、講座の最後には受講生自身の企画を実施します。10回にわたる映画鑑賞+講義で学ぶ「映画史」もカリキュラムの中に含まれています。

これから映画映像を学ぶほとんどの初心者はもちろんのこと、すでに経験を積んだ美術館の学芸員や自治体の文化担当や、映画祭や映画館のスタッフ等にも新たな事業展開を考える契機としていただく内容となっています。

「コミュニティシネマセンター」とは

日本各地の公共的な上映活動を支援するとともに、地域の上映組織「コミュニティシネマ」の設立を推進するための団体が「コミュニティシネマセンター」です。近年では地域映画館のネットワーク「シネマ・ランジエール」の運営や地域の公共上映施設の共同事業「シネマテークプロジェクト」なども手がけています。

映画美術学校とは

シネクラブの活動や映画祭の製作サポートを通して世界の映画を紹介しつづけてきたアネフランセ文化センターと、映画製作・配給・興行を行ってきたユネコスベースとの共同プロジェクトとして、1997年に開校、2000年春にNPO(特定非営利活動法人)として認証され、2009年に現在の場所に移転しました。実践的な映画制作の講義の中からたくさんの映画作品が生まれ、国内はもとより海外の映画祭でも高い評価を受けています。

主な講師（五十音順・予定）

石坂健治【東京国際映画祭「アジアの風」部門ディレクター】日本映画大学教授】
 岡島尚志【東京国立近代美術館フィルムセンター主幹】
 小川直人【そんた/メディアアート学芸員】
 小野田孝明【東北大大学院工学研究科教授】建築】
 川村健一郎【立教大学文学部准教授】
 近藤恭代【東21世紀美術館学芸員】
 佐伯知紀【文化庁文化芸術審議会文化課主任芸術文化政策官】
 田井澤真【シネマ代表（大分）】
 立木祥一郎【合同会社 neo11c 代表】
 土肥悦子【シネマドット支那人（金沢）】
 内藤篤【内藤上：シネマワークラボ創始者】
 平田オササ【劇作家・演出家（大阪大学コミュニケーションデザインセンター教授）】
 堀三郎【アネフランセ文化センター制作室】
 堀越誠【三ノ宮ユネコス代表、映画美術学校代表理事「プロデューサー」】
 松本正匡【アネフランセ文化センター主任（映画美術学校代表理事）】
 村山匠一郎【映画研究家】日本大学映画学部教授】
 山田直哉【株式会社メソッド代表】クリエイティブディレクター】

――

プレ公開講座「募集ガイドス」開催！

居心地のいい場所＝新しい映画館のつくりかた

2013年6月25日(水) | 午後7時より

出演 | 真野真介(東工大准教授)、立木祥一郎(neo11c代表)、小川直人(そんた/メディアアート学芸員)ほか
 会場 | 映画美術学校(京都府京都市)
 定員 | 50人

映画史講座 映画上映と講義 | 受講者募集

「映画史講座」のみを受講することもできます。映画の誕生から現在にいたる映画の歴史を、実際に映画を鑑賞しながら学ぶ講座です。

講座 | 全10回(予定) 原則1月1日、土曜日または日曜日14時～17時(予定)
 会場 | 東京国立近代美術館フィルムセンター-ほか
 受講料 | 52,500円(消費税別)

シネマ・マネジメント・ワークショップ | カリキュラム(予定)

―
 文化ダンス | 映画・映像のマネジメント(制作・配給・上映……)

文化政策・アートマネジメントの現在 | 劇場法とは何か
 コミュニティシネマとは何か | シネマ・ランジエールとシネマクラブ・プロジェクト

映画・映像作品の著作権と著作権

コミュニティデザイン(まちづくり)とコミュニティシネマ

地域発信型アーススペースを考える | 地域文化の拠点としての映画館

メディア芸術とは何か | テレヴィジョンとメディア芸術

世界のフィルムアーカイブとコミュニティシネマ

―
 簡易日本映画史 | プロダクションの成立と変遷

非商業上映の歴史 | 普通道動からコミュニティシネマまで

国際映画祭とは何か

フィルムの保存と上映 | 国内・海外のアーカイブ

―
 映写・音響システムの基礎知識

“デジタル化”とは何か

―

ミニシアター運営の10ヶ条

美術館・図書館等の上映

プログラミング | 特集上映の企画と予算

プログラミング | 子どものためのプログラム

プログラミング | 映画宣伝の基礎知識

プログラミング | インターネット、SNSの活用

プログラミング | 他ジャンルとの連動/ワークショップ

プログラミング | 地域映画祭の企画と運営

企画策定セミナー(修了実習に向けて)

全国コミュニティシネマ会議への参加

等々、約30コマ予定

―
 【映画鑑賞+映画史講義】

各回 | 作品を鑑賞後、映画史の講義。

―
 【修了実習】

受講生の企画を実施する予定です。

(2014年度予定)